

市報 2022 9.10 ひたちなか

No.666

- 特集 SDGs ×シビックプライド
「ひとが咲くまち。ひたちなか」
- 2-3 まちへの想いが推進するSDGs
 - 4-5 お寺から広がる地域の輪
 - 6-7 ひとが咲くまち。ひたちなか
 - 8 重点プロジェクト伝えるガール特別編
 - 9 市総合防災訓練を実施しました
土地区画整理の宅地を販売します
 - 10-11 暮らしの情報

発行 ひたちなか市広報広聴課 ☎029(273)0111
編集 〒312-8501 ひたちなか市東石川2丁目10番1号

あなたは「このまち」が好きですか？
生まれ育った場所だから。
大切な人・守りたい人がいるから。
このまちの豊かさをもっと知って欲しいから。
そんな思いから、自分のことから
自分らしく行動を始めた人がいます。
そして、その踏み出した一歩は周囲に伝播し、
想いの輪・活動の輪が広がっています。
持続可能な社会の実現に向けて、
このまちの未来をつないでいる、
そんな人たちの想いと活動を紹介します。



特集 SDGs ×シビックプライド

ひとが咲くまち。ひたちなか

Special Talk

まちへの想いが推進するSDGs



ひたちなか青年会議所第29代理事長

萩谷 樹莉

はぎやじゅり ● 大島中学校出身。卒業後、単身ロサンゼルス留学。市内で美容業、飲食業を営む。ひたちなか青年会議所第29代理事長。

ひたちなか市長

大谷 明

おおたにあきら ● 勝田第一中学校出身。東京で進学・就職後、ひたちなか市にUターンする。2011年茨城県議会議員、2018年11月現職。

イバフォルニア・プロジェクト

小池 伸秋

こいけのぶあき ● 阿字ヶ浦中学校出身。東京で進学・就職後、ひたちなか市にUターンして、NPO法人などで活動始める。

SDGsを活用した地域づくりに取り組む萩谷樹莉氏、阿字ヶ浦海岸を中心に100年先も豊かに暮らせるまち・海をつくるため、地域コミュニティづくりの分野で活躍している小池伸秋氏、大谷明市長の3人が、シビックプライドやSDGs、これからのまちづくりについて熱く語り合った。

それぞれのシビックプライド

市長 お二人ともそれぞれの分野で活躍していますが、活動のきっかけや内容をお聞かせいただけますか？

小池 私は阿字ヶ浦出身ということもあり、阿字ヶ浦海岸を季節問わず人の集う場所にしたと思い、仲間と一緒にイバフォルニア・プロジェクトを立ち上げました。夏以外も楽しめる海岸にしようと、マーケット開催やビーチクリーン活動、海の家をリノベーションしたワーキングスペースの運営などを通じて、多様な人々が交流できるコミュニティづくりなどを行っています。

萩谷 私もひたちなか市出身で、母や祖父がひたちなか青年会議所で活動していたので、幼少期から大人が地域貢献活動をするのが当たり前の光景でした。独立してビジネスを始めたときに誘われて、平成26年に青年会議所に入会しました。

市長 ご自身の活動とシビックプライドについて、どのようにつながりがあると感じていますか？

小池 私やメンバーは、あまり「まちを良くしよう」とか「ひたちなか大好き」と思っているわけではないんです。まず自分たちが「楽しんで豊かに暮らす」ことを大切にしている、私たちが生き生きと輝いていれば、まちも魅力的に映るといいたいから、人との「つながり」や「ゆるさ」を大切に活動しています。

市長 自分たちの「好き」や「楽し



飲食などさまざまな出店で来場者を楽しませるイバフォルニア・マーケット

SDGsを達成するために

市長 今、国や市ではSDGsの推進やその理念を取り入れたまちづくりを進めています。青年会議所では早くからSDGsを推進してきましたが、具体的な取り組みや感じていることを教えてください。

萩谷 音楽活動をする学生の応援と人材育成を目的に、全国高校生ア

い」という想いが、結果としてまちの魅力につながっていくということですね。これも一つのシビックプライドのあり方だと思います。

萩谷 生まれ育ったひたちなか市が好きなので、次世代を担うリーダーや市内外で活躍できる若者を育てていきたいですね。また、市が全国から注目されるようなブランディングにもつなげたいと思っています。

シビックプライドって何？

—誰かを支え、誰かに支えられ、あの人たちのいる、このまちが好き！—

「シビックプライド」それは、まちへの誇りや愛着。そして、まちのことを「自分のこと」として関わっていく気持ちです。

ひたちなか市で生まれた人、引っ越してきた人。性別や年齢が違って、一人一人みんなが個性ある人。お互いを尊重し、認め合い、また豊かな自然とともに暮らすために、市内に住んでいても、市外にいても、自分がこのまちにできることを考えることから、ひたちなか市のまちづくりは始まります。



ひとが咲くまち。ひたちなか

「ひとが咲くまち。ひたちなか」シビックプライドを醸成するシンボルとして市民ワークショップ、デザイン公募、一般投票によりキャッチコピーとロゴマークが決定した。

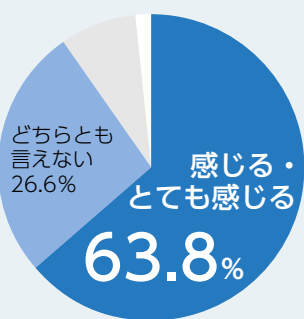
シビックプライド県内第1位

ひたちなか市は、民間企業が実施したシビックプライドランキングで、「県内第1位」に選ばれています*。なかでも、まちに「誇り」を感じる数値が高くなっています。

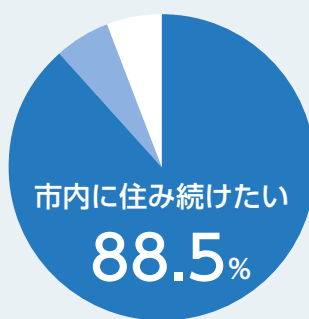
また、令和元年度に実施した市民意識調査では「市内に住み続けたい」が9割近くになり、前回調査よりも数値が上昇しました。

*シビックプライド調査2021(読売広告社) 関東・関西圏の人口10万人以上の151都市を対象に実施

誇りや愛着を感じますか?



ひたちなか市に住み続けたいですか?



出典：ひたちなか市まちづくりに関する市民意識調査(R1)

ひたちなか市のココが自慢

1 快適な生活環境



自治会は、行政では手の届かない地域の困りごとや課題の解決に取り組んでいます。道路や住環境といった都市基盤が整備され、地域で助け合う市民力の高さに支えられた快適な生活環境は、暮らしやすく私たちの自慢だと思っています。

市自治会連合会 坂井 久彦 会長

2 自然の豊かさ



勝田駅から真つすぐにのびる銀杏並木通りなど四季折々の美しい景色、そしてたくさんの公園は活動的な場所でありホッとできる場所。海や川や田んぼには、蛙やメダカ、沢ガニなどがいて親子で自然を満喫できます。「ここでしかない、素晴らしい環境」を誇りに思います。

NPO法人やす託児所 安 のり子 理事長

3 人や物の交流



工業、商業、農業、観光業、水産業といった多種多様な産業がバランス良く立地し、人の交流や物の流通が盛んに行われるようになりました。祭りやイベントも頻繁に開催され、活気あるまちの賑わいはひたちなか市ならではの自慢です。

ひたちなか商工会議所 柳生 修 会頭

「マチュアバンド選手権「ティーンズロック」の運営に力を入れていきます。これはSDGsの「4.質の高い教育」や「11.住み続けられるまちづくり」と結びついています。ただ、SDGsを意識して行動するというよりは、社会に必要な取り組みが自然とSDGsのゴールにつながる人が多いと感じています。

小池 私たちが行っているビーチクリーンやコミュニティ運営は「14.海の豊かさを守ろう」や「11.住み続けられるまちづくり」に結びついていると思いますが、私たちがそんなにSDGsを意識しているわけではないですね。

市長 お二人とも、「SDGsだから」というわけではなく、「自分たちの活動を多面的にみると、結果的にSDGsのゴールにつながっている部分があるということですね。」



8月9日に開催された TEENS ROCK 2022 GP Final in HITACHINAKA

つながる活動の輪

市長 活動をする上では、仲間を増やしたり、共感を得ていくことも重要だと思いますが、その点で気を付

けていることはありますか?

小池 頑張りすぎない「ゆるさ」を大事にしています。多様な価値観や生き方が認められる時代では、私たちのような「ゆるい」コミュニティが数多くあることは大切だと思いますし、社会インフラの一部にもなっていると思っています。いろんな背景の人たちが参加することで、化学反応みたいなものも起こっています。参加者同士が仲良くなって新しいビジネスが生まれたり、学生だった子の就職先が決まったり。こうしたつながりが生まれるのは活動していく上でも重要だと思います。

萩谷 団体として持続的に活動を行うには、私たちがまず楽しんで取り組むことを大切にしています。青年会議所は40歳になると自動的に会員の資格を失いますが、楽しそうな姿につられて新しいメンバーが入って

きています。そして、それぞれが役割に誇りを持ち、一つ一つ誠実に向かい合うことで多くの成長があり、共感を呼ぶと思っています。大きな目標を達成するためには、1人の100歩ではなく、100人の1歩が必要です。みんなで力を合わせて良いま

市長 シビックプライドは、まちを自分ごととして良くしようとする気持ちのこと。お二人のまちづくりへのアプローチは異なりますが、「こ

うでなくてはいけない」という正解はないのだと感じました。決して大きなことをする必要はなく、できることから楽しんで始める。そしてSDGsという共通言語によって意識づけが生まれ、さらに自分たちの活動やまちが好きななる。また、その取り組みが共感を呼び、仲間が増え活動の輪や奥行きが広がっていく。

そうした循環の中に、誰もが気軽に参加できることが、まちをより良くしていくのだと確信しました。シビックプライドを育むキャッチコピー「ひとが咲くまち。ひたちなか」に込められた本市の成長性や多様性を大切にしながら、まちづくりを進めていきたいと思っています。



エスディー・ジーズ SDGs 今さら? いいえ、今から。

—将来のために環境や資源を壊さずに、今の生活をより良く変えるにはどうしたらよいか—

この目標を2030年までに達成できるよう、未来を変えるために今から取り組んでいく世界みんなの共通目標がSDGs(持続可能な開発目標)です。私たち一人一人の小さな行動が社会を変える力となり、世界の問題解決につながります。

SDGsには17の目標と、169のより具体的な目標(ターゲット)が示されています。



お寺から広がる地域の輪

「人が温かくて、市民活動がしやすいまちだよ」と声をそろえる二人。住むからには住み心地良く、誰もが安心して暮らせるまちにしたいという想いで、子どもの居場所づくりや食料支援に取り組みます。

真紀子さんは「二人だけの力ではなく、門徒さん(檀家)やスタッフの支えがあるから成り立っている。受けた恩を送り返す気持ちで、気軽に立ち寄ってもらえる場所を目指したいです」と感謝を伝えます。



私たちは、いつもみなさまの居場所でありたい

「たった一人でも喜んでくれたらそれで良い。困っている人への力添えは、お寺のあるべき姿だと思っています」

穏やかな関西弁のイントネーションで話す、正安寺住職の増田直さん。奈良県の寺に生まれ、那珂湊にある寺の娘・真紀子さんとの結婚を機に、ひたちなか市に移住。寺という立場上、いろいろな人の悩みを聞く機会が多く、まちの課題は地域ぐるみで解決しようと、消防団や青年会議所などの活動に積極的に参加して交流の輪を広げました。



NPO 法人ただいま
増田 直 代表理事
増田 真紀子 代表理事

2015年、^{しょうあんじ}正安寺(中根3542)での子育て支援カフェ開催を皮切りに6つの事業を実施。規模拡大に伴い法人化を進め、2022年2月「NPO法人ただいま」設立。

スタッフや参加者の声から生まれた多様な事業

東日本大震災後、家で孤独になりがちだった母親のたまり場として、子育て支援「ママカフェ」を開催。数年後、市からの要望をきっかけに、放課後の小学生の居場所を提供する「てらこや」を発足。出会った人々の声から、学校へ行かない選択をした子を支援するフリースクールや、月に一度の地域食堂、若年女性の悩みを共有する「ハイティーン」のつどいへと手広く事業を展開しました。

直さんは「食料支援はSDGsのゴールの一つであるフードロス削減にもつながります。こんな助けが必要だなと思って動く、結果的にSDGsに結びつくことが多いと気付きます」と語りました。

特定非営利活動法人ただいま



いつでも「ただいま」と帰ってこられる場所を目指して。いろいろな人の笑顔と温かさをイメージしたロゴマーク。

私の一步

得意の家庭料理で活動を支える

人と関わることが好きで、調理師の経験も生かせると思い「ただいま」のスタッフに加わりました。提供された食材を生かし、いかにみんなの喜ぶメニューを作れるかは腕の見せどころ。心を込めて作ったご飯を、おいしそうに食べる姿を見ると「次も頑張ろう」って思います。たくさんの笑顔に元気をもらっています。



萩野谷 敬子さん

楽しく活動、日々の暮らしも充実

ママカフェで交流するうちにここに来るのが楽しくなりました。みんなで子育てしている感覚で、私も良い息抜きになります。スタッフに加わり活動が広がると、新たな刺激もあり、知り合いも増えて、日々の暮らしが豊かになりました。

これからも、私にできることで力になっていきたいです。



松尾 真美さん



▲放課後の小学生の居場所「てらこや」。夕飯、宿題、自由時間…子どもたちの憩いの場



▲みんなが大好きなご飯!地元食材を、愛情込めて調理



▲フリースクール「ふらっと」で草木染に挑戦



▲「ママカフェ」で子育ての悩みを共有。読み聞かせや、子ども服の配布なども実施



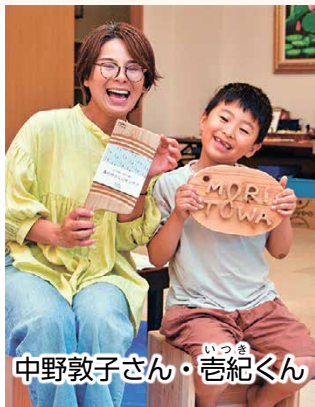
▲誰でも参加できる地域食堂「ただいましょくどう」。近隣農家などから寄付された食材で作るカレーを無償提供



▲食料支援・フードロス削減事業「TeToTe」



四国からひたちなかに移住し、正安寺のママカフェに参加していた中野さん。豊かな自然の中で育った経験から、子どもや地域の方にも日本の森の魅力を知ってほしいと思い、真紀子さんらの協力を得て「もりとわ」を結成。茨城の木(主に間伐材)で日用品や雑貨を作ったり、学生に講義をしたりして、森を守る大切さを伝えています。中野さんは「地域の森林資源に目を向けてもらえたとき、勇気を出して活動を始めてよかったなと感じます」と話しました。



中野敦子さん・巻紀くん



古民家またたびでの作業

助け合い、励まし合い
できることから一歩ずつ

「太陽のような真紀子さんの人柄に背中を押されて、私も行動することができました」
笑顔で話してくれたのは、ボランティアスタッフのみなさん。活動の輪が広がるにつれて、スタッフの数も増えました。主婦や学生、元教員、元美容師など、市内外から25人程が「ただいま」の活動を支えます。
「気兼ねなく会話しながら楽しく活動しています。スタッフにとってもここが憩いの場となれば嬉しいな」と真紀子さん。直さんは「最初から大きなことをする必要はなく、一人が一人にアプローチできたら充分だよ」と頷きます。

「恩送り」の想いから
広がる活動の輪

「ただいま」の活動を通じて心動かされ、新たな一歩を踏み出した人たちがいます。てらこやに感銘を受けて始まった、子どもからお年寄りまでの交流の場「みなとつこ応援団」や、ママカフェに集まった母親の視点から、森や木の大切さを伝える団体「もりとわ」など。人と人がつながり、まちを良くしたいという想いは着々と伝播されています。
「人に優しくされると、誰かに優しくしたいと思える。何かを始めるきっかけを探している方、『ただいま』では心温かい仲間がいつでもお待ちしています」。二人は柔らかに微笑みました。

私の一歩

農家ならではの助け

前々から正安寺の門徒だったこともあり、直さんに声をかけてもらったのがきっかけで食材提供の協力を始めました。

農作物を受け取った方々が、生活に余裕ができたとき「あのときの野菜おいしかったから、地元産を買ってみようかな」と思ってくれたら嬉しいな、なんて思いながら寄付させていただいています。

安 裕貴さん



高校生スタッフとして「ただいま」

正安寺には子どもの頃から遊びに来ていました。人見知りだった私を受け入れてくれる居心地の良い空間でした。

今はスタッフとして子どもたちと関わったり、特技を生かしてピアノでBGMを担当したりしています。ここに来ている子どもたちの気持ちに寄り添って、少しでも支えられたら良いなと思っています。

小幡 愛海さん





おいしいカレー
作って待ってるよ

子育てや仕事を頑張っている保護者の負担を少しでも減らしたくて、毎月第2・4木曜日の午後5時から、「こども食堂」を開いています。お子さんのいる家庭の方ならどなたでも、気軽に立ち寄ってもらい、息抜きできる場所になれば嬉しいです。

アイズカフェ 石田 健一さん



「もったいない」の
心を形に

フードロス削減のため、当日売り切れなかったパンを冷凍し、お得な価格で販売しています。これまでに7回実施し、約3万4,300個の廃棄を削減することができました。また、食パンの耳を付けたままのサンドイッチを作るなど新たな商品にも挑戦しています。

パン工房ぐるぐる 根本 麻美さん



地域とつながり
いつまでも健康に

認知症のある人やアクティブシニア、地域の子どもたちなど、多様な人が集い、つながりが生まれる場がこの畑。何歳になっても「誰かのために」と思ってお店で野菜を作り、子ども食堂へ寄付したり、販売などで地域に還元されることで、生きがいにもつながっています。

ヒロさんの畑 柳澤 阿津子さん(前列中央)



教育で子どもたちの
夢にエールを

「子どもたちに大きな夢と大きな力を」。そんな想いから、子どもたちを応援する基金を設立しました。ひたちなかで育った子どもたちが素晴らしい未来を作ってくれることを夢見しています。

(公財)KAWASAKI KIDS基金
川崎 収厚さん(写真中央)



男女ともに活躍できる社会を

社員の85%を占める女性がいそいそと働ける会社を作るため、リモート勤務の拡充など出産・育児といったライフステージや家庭環境に応じた働き方ができるようにしています。地域にとっても、女性が活躍できる雇用の受け皿となればと思っています。

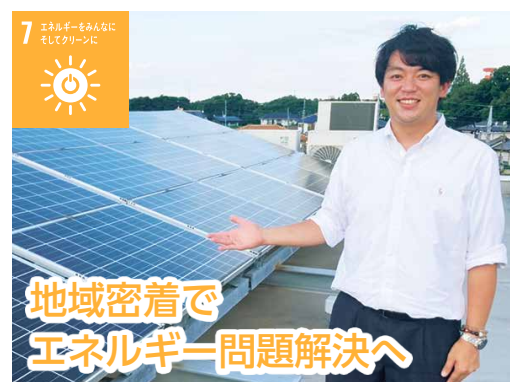
小野写真館 小野 哲人さん(写真中央)



豊かな自然を残したい

私たちは、ボランティアとして市と協力しながら親水性中央公園の樹木整備活動に取り組んでいます。森・草・水が循環する豊かな自然を次世代に残していきたいです。

いばらき森林クラブ
五十嵐 良隆さん



地域密着で
エネルギー問題解決へ

住宅設備機器の交換や設置は、省エネタイプの製品を積極的に提案しています。また、再生可能エネルギーとしてソーラーパネルの設置をお勧めするなど、環境にやさしいエネルギー提供に取り組んでいます。

NEXT・カワシマ 川嶋 啓太さん



子育てママの
「動きたい」を応援

育児や仕事を頑張る方々を支えるため、料理や掃除、洗濯などの家事サポートを行っています。家事も立派な仕事のひとつ。一人で抱え込まず、誰かに頼るという選択肢があることを知ってもらいたいです。

家事サポート「Smile」 大内 順子さん



未来を担う人材へ
情報技術を伝授

小中学生向けのプログラミング教育支援などを行い、情報技術(IT)を楽しみながら学べる環境づくりに取り組んでいます。また、近年急速に進むデジタル化に対応するため、市と連携し、ITサポートセンターでの質問や相談対応、およびパソコン講座を担っています。

NPO法人なかなかワーク 小池 博さん



言葉の壁を越えて生まれる絆

これまでに約10カ国の方々が国際交流し、いつも笑顔あふれる教室です。日本語の勉強だけでなく、楽しく日常会話をする時間を大切にしています。日本に来たばかりで不安な方にとって、ほっと息抜きできる場所でありたいと思います。

にほんご教室いろは 齋藤 有香さん(写真中央)



外からの視点で
伝統をつなぐ

みなと八朔まつりに魅了され東京から那珂湊地区に移住してきました。八朔まつりに関するアート活動をこの地で続け、八朔まつりのすばらしさや祭りを愛する人の魅力を伝え、300年以上続く伝統を次の世代につないでいきたいです。

美術家・デザイナー 臼田 那智さん



無駄なく売り切る
ほしいもつくり

地元特産品のほしいもつくりをしたくて、二人でゼロから起業しました。自分たちで作ったものは売り切るよう、色味や食感が劣るものを廃棄せず安く販売したり、ネット販売したりと、生産者としてロスが出ないほしいもつくりを行っています。

ヤマブキファーム
鈴木 梨紗さん(左)・北川 千晴さん(右)



環境にやさしい麦ストロー
〜MUGIMOプロジェクト〜

畑の土ほり防止のために栽培される麦を使ったストローを店内で使用しています。これまで処分されていたものを再利用してゴミを減らすだけでなく、プラスチックの削減にもつながります。事業者として環境にやさしいことをしたいと思っています。

アトリエ Coichi 藤田 康広さん



海の生き物を知ってもらい
豊かな海を守りたい

ヒトデなどの海の無脊椎動物の研究をするため、全国数多くの海岸を訪れていますが、その中でも磯崎から平磯にかけての海岸は、多くの生き物が生息する素晴らしいフィールドです。イベントなどを通じて海の生き物に関心を持ってもらい、海の保全につながる活動に取り組んでいます。

地球レーベル 小松 真弓さん(ひとでちゃん)



ホタルの棲む
風景を次世代に

「生き物を扱う建設業」と言われる造園業、そこに関わる者として人と自然が調和した環境づくりは使命だと感じています。自治会や学校とのビオトープづくりやホタルの保全活動を通して、この原風景を守ってまいります。

砂押園芸 砂押 一成さん



そのままの君で
いいんだよ

さまざまな理由で学校へ足が向かない子が、自分らしくいられる場所をつくりたい思い、フリースクールを設立しました。その子本来の力を発揮しながら支え合える居場所になることを目指しています。

子どもの居場所&フリースクール花音〜hane〜
木村 理恵さん(左から2人目)



スポーツの力で
子どもたちに夢と希望を

ひたちなかをホームタウンとするチームとして、バレーボール教室やイベントを通じてスポーツの普及推進に取り組んでいます。子どもたちが何かに挑戦するきっかけだったり、勇気を与えられる存在となれるよう邁進します。

日立Astemoリヴァーレ
長内 美和子さん(写真中央)

ひとが咲くまち。
ひたちなか

まちを良くしようとする人々を訪ねると、「良い環境や社会になるように、自分のできることから始めた」とみんながそろって言います。その活動のきっかけはさまざま。何かを思い活動し、結果としてまちを良くしている。それぞれの想いがシビックプライドです。そして、困っている人々のために、次の世代のために、未来のために行う一人一人の活動がSDGsのゴールに結びついています。SDGsは世界の共通目標・共通言語として、今の生活をより良くする活動を17種類に分類するもの。決して難しいことはありません。

ひたちなか市は、ほかの地域と同じようにこれから人口減少社会を迎えようとしています。いつまでも活力がある持続可能なまちであるため私たちに何ができるのでしょうか。

できることからひとつずつ。一人の歩は小さくけれど、千人集まれば大きな一歩になります。そして、最初の一步を踏み出すのに、それほど多くのものを準備する必要はありません。「このまち好きだな」その気持ちひとつあれば、まちを、日本を、世界を変えていくのだと思います。

人がいるからまちがある。ひとが咲くまち。ひたちなか守り、育て、つなぐ。このまちの未来。

市役所でのある日の打合せ
企画調整課 丸岡課長補佐
お久しぶりです。

丸岡です
この3人の感じ
久しぶりですね！

天野主事(アマちゃん)
斉藤企画員

※昨年度から人事異動がなかった3人

子どもたちに
伝統文化を体験して
もらいながら、
郷土愛を育む
取り組みを
進めています。

生涯学習課 栗田主任

自治会や
コミュニティなどの
地域での支え合いが
活性化するよう
活動を支援
しています。

市民活動課
照沼主事

今回の特集記事で、
多くの方がまちの
活動をしていること
が分かったよね。

市ではシビック
プライドを高める
ため、どんなことを
しているんですか？

今回はシビック
プライドについて
伝えるってのは
どうだい？

行ってきます。
なつかしい！

地域社会との
交流を通して
子どもたちの
社会性が
育まれるよう
支援しています。

子ども政策課
榎戸主任

シンポジウム
などのイベントを
通じて、
シビックプライドの
醸成を図ります。

企画調整課
上沼主事

このままSDGs
についても伝えてくれ。

SDGs棒!

多くの方に
市の魅力を
知っていただき、
地域での交流や
支え合いが
活発になるよう
取り組んで
いるんですね。

重点

重点プロジェクト

特別編
伝えるルール

シビックプライドを
高めるまちづくり

令和3年度から始動した「第3次総合計画後
期基本計画」。まちづくりの重点プロジェクト
「シビックプライドを高めるまちづくり」を、市
の担当者などが登場しながら重点
ガールが紹介します。
市の重点テーマ、重点プロジェクト
トの詳細は、市HPをご覧ください。



【問合せ】
企画調整課 内線 1313

シビックプライド醸成とまちの活性化

2019年に市内中学2年生を対象として実施したアンケート調査では、地域行事への参加や地域の大人との交流が多い生徒ほど、ひたちなか市が好きと回答しています。また、18歳以上39歳以下の市民意識調査では、シビックプライド(市への誇りや愛着)を感じる人ほど定住意向が高くなっています。

子どもたちを中心に、多くの方が多世代による交流の中で地域に魅力や愛着を感じられる機会をつくるとともに、

地域が取り組むさまざまな活動を支援し、まちのことを「自分のこと」として感じられるよう、シビックプライドを醸成するまちづくりを進めています。

シビックプライドと定住意向の関係 n=793

定住意向	住み続けたい	市外に移りたい	わからない 無回答
シビックプライド (とても)感じる	73%	7%	19%
どちらともいえない	44%	12%	44%
(まったく)感じない	27%	34%	40%

みんなでチャレンジ SDGs

まだSDGsって難しいと感じていませんか？
こんな取り組みをしているあなたは、すでにSDGsを実践している一人です！

Let's チャレンジ

河川課 大藪室長

- 地域活動や防災訓練に参加する
- 洪水ハザードマップなどを確認する
- 自分が住んでいるまちの魅力を考えてみる

11 住み続けられるまちづくりを

那珂川の堤防整備や中丸川調整池、河川改修等の公共インフラの促進により、降雨災害による浸水被害の軽減に取り組んでいます。

Let's チャレンジ

家事や子育てを分担する

● 男性だから、女性だからと決めつけない

● 男性も育児休暇等の制度を利用する

5 ジェンダー平等を実現しよう

「女性の相談窓口」を設置し、配偶者などから暴力を受けている被害者の安全の確保に努めています。

女性生活課 小澤主幹

Let's チャレンジ

健康推進課 渡邊保健師

- 健康診査や予防接種を受ける
- 適度な運動を心がける
- バランスの良い食事を心がける

3 すべての人に健康と福祉を

健康づくりに取り組みとポイントが貯まり、参加賞や貯めたポイントに応じて抽選で特典が当たります。

SDGs × シビックプライド シンポジウム

10/22(土) 14:00~16:00 入場無料

ひたちなか市出身のタレント・黒沢かずこさんや、SDGs-1グランプリ2020優勝の勝田高校出身・佐久間一行さんをゲストに迎え、市への想いやSDGsについて楽しいトークを交えながら、みんなでミライを考えるイベントです。

▲申込はこちら

Let's チャレンジ

- 冷暖房の設定を適切な温度にする
- 鉄道やバスなど公共交通機関で移動する
- できるだけ再生可能エネルギーの利用に努める

13 気候変動に具体的な対策を

太陽光パネルと住宅用蓄電池を併せて設置した方への補助金を創設し、再生可能エネルギーの活用を促進しています。

環境政策課 奥村主事

Let's チャレンジ

- 買い物にマイバッグを利用する
- 食品ロスを減らす
- すぐに食べるものは賞味期限の近いものを購入する

12 つくる責任 つかう責任

買い物にはマイバッグ。3R(リユース・リデュース・リサイクル)活動を進めています。

廃棄物対策課 中島主事



市総合防災訓練を実施しました

8月27日、震度6弱の大地震と沿岸部に4mの津波が来襲、同時に市内で連日新型コロナウイルス感染者が確認されている想定のもと、市内の自主防災会、関係機関、協力団体と協働で防災訓練を実施しました。当日は約6,000人の参加があり、感染症対策を踏まえた避難行動や給水訓練など各所で実践されました。

災害への備えを再確認

ページID 1006911

▶ 防災情報を集める

市HPに避難所一覧などを掲載しているほか、戸別受信機やメール、LINEなどで被害状況や避難所情報を発信しています。



▲ひたちなか安全・安心メール



▲市公式LINE

▶ 地域の災害リスクの再確認

土砂災害および洪水ハザードマップ、防災マップを活用して、自分自身の避難計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう。



▲各種ハザードマップ



▲マイ・タイムライン

配布場所 生活安全課(防災・洪水)、河川課(土砂災害・洪水)

避難時の心構え

- ① 緊急避難場所・避難所の確認
- ② 避難経路の確認
- ③ 避難するときは動きやすい服装
- ④ 持ち物は最小限に
- ⑤ 徒歩による避難
- ⑥ 声を掛け合って避難



【問合せ】生活安全課☎内線 3211、8

▶ 避難情報を確認しておきましょう

警戒レベル 5	災害発生・切迫	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難		
警戒レベル 4	災害のおそれ高い	避難指示
警戒レベル 3	災害のおそれあり	高齢者等避難
警戒レベル 2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報
警戒レベル 1	気象状況悪化のおそれ	早期注意情報

好評分議中

土地区画整理の宅地を販売します

ページID 1002452

■阿字ヶ浦地区・船窪地区(抽選分)

申込期間 9月26日(月)～10月11日(火)(土・日・祝を除く)
午前8時30分～午後5時30分

抽選日時 10月15日(土) 午前10時～
那珂湊支所1階会議室1

※申込多数の場合は抽選。申込のなかった区画は先着順で販売。

阿字ヶ浦地区

保留地番号	街区	符号	地積 (㎡)	単価 (円/㎡)	販売価格 (円)
50	76	3	255.52	27,300	6,975,000
51	76	8	255.14	27,000	6,888,000
52	76	9	256.00	27,000	6,912,000
53	76	10	256.00	27,000	6,912,000
54	76	11	256.01	27,000	6,912,000
55	76	12	256.00	27,000	6,912,000
56	76	13	256.00	27,000	6,912,000
57	76	14	253.90	27,300	6,931,000
58	76	15	256.19	27,500	7,045,000
59	76	16	257.38	27,300	7,026,000
60	76	17	258.63	27,300	7,060,000
61	76	18	257.93	27,500	7,093,000
62	77	1	349.85	26,500	9,271,000
63	77	2	3,941.16	19,030	75,000,000
64	77	8	330.98	27,500	9,101,000
65	77	9	350.00	25,800	9,030,000
66	80	11	273.00	26,000	7,098,000
67	80	24	244.16	27,300	6,665,000
68	80	25	269.96	25,500	6,883,000
69	80	26	270.02	25,500	6,885,000

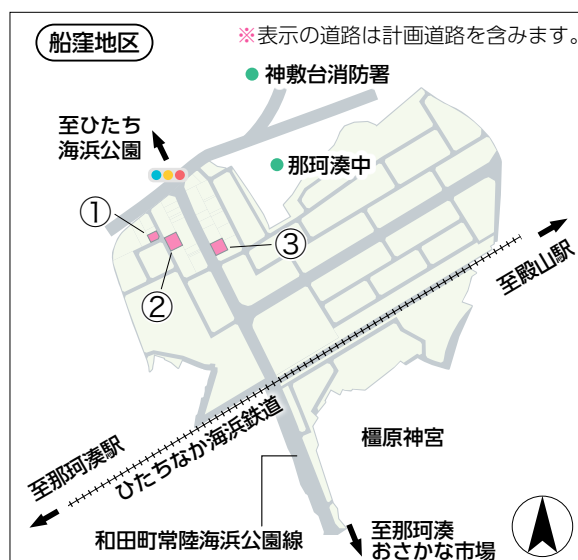
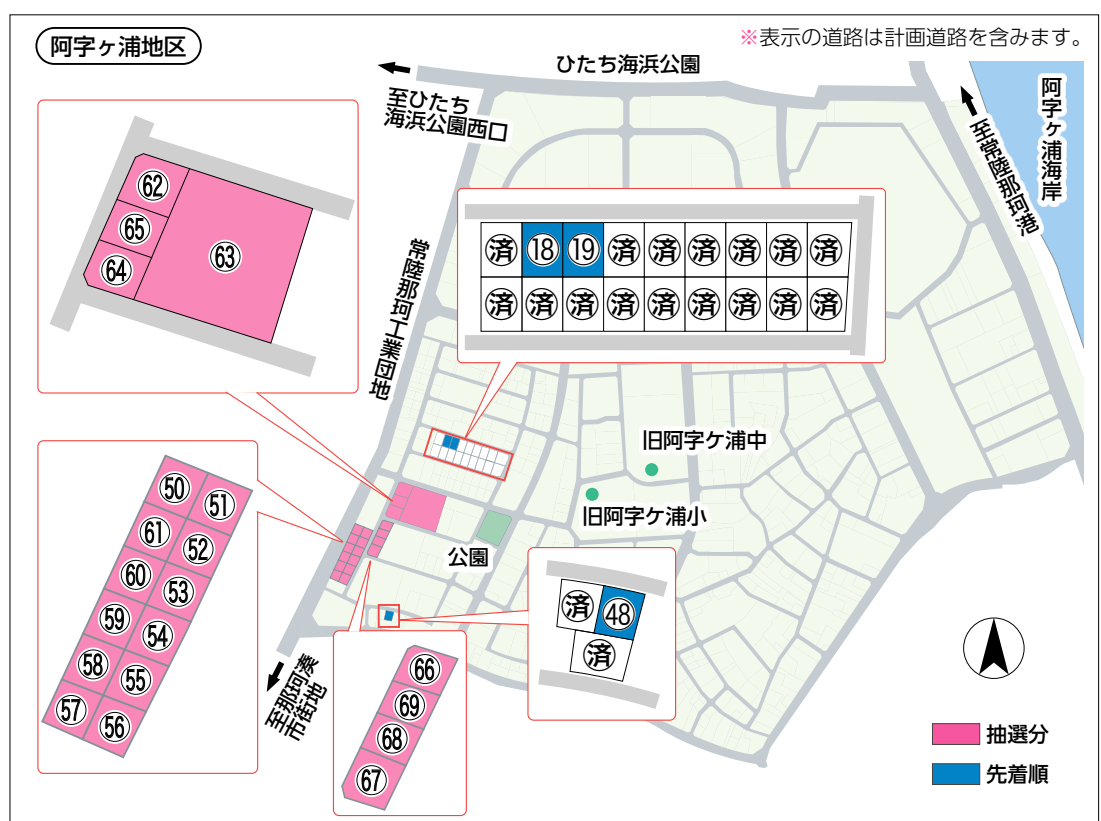
船窪地区

保留地番号	街区	符号	地積 (㎡)	単価 (円/㎡)	販売価格 (円)
①	1	5	181.69	21,900	3,979,000
②	4	23	435.82	18,800	8,193,000
③	9	20	386.46	22,700	8,772,000

■阿字ヶ浦地区(先着順)

申込期間 随時受付中(土・日・祝を除く)
午前8時30分～午後5時30分

保留地番号	街区	符号	地積 (㎡)	単価 (円/㎡)	販売価格 (円)
18	74	8	240	24,400	5,856,000
19	74	9	241	24,400	5,880,000
48	83	15	214	24,200	5,178,000



★抽選分・先着順共通

申込方法

申込書を那珂湊地区土地区画整理事務所(那珂湊支所2階)に直接または郵送で提出(〒311-1292 和田町二丁目12番1号)

※申込書は市HPからダウンロード可

申込資格

以下の条件に該当しない方

- 成年被後見人または被保佐人
- 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者等

【問合せ】那珂湊地区土地区画整理事務所☎内線 242、3



案内

●11月20日投開票 ひたちなか市長選挙および市議会議員補欠選挙立候補予定者説明会

日時 10月24日(日) 午後1時30分～
場所 市役所議事堂棟 第2・3委員会室 持ち物 印鑑 ※出席者は各立候補予定者につき2人まで 問合せ 市選挙管理委員会 ☎内線 4187

●年金生活者支援給付金制度

ページID 1005839

対象 ▼高齢基礎年金を受給している方で①～③をすべて満たす方

①65歳以上 ②世帯全員の市町村民税が非課税 ③前年の年金収入額とその他所得額の合計が881,200円以下 ▼障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方 前年の所得額が4,721,000円+扶養親族の数×38万円以下 請求方法 日本年金機構から送付される請求書を記入し提出。対象者には9月1日以降順次送付されています。すでに請求し受給している方には送付されません。 問合せ 給付金専用ダイヤル ☎0570-05-4092

●ボランティアグループ 立ち上げ助成金を交付します

対象 ①～③全てを満たす団体 ①市内で継続的に活動し、令和3年10月1日から令和4年9月30日までに設立された団体 ②市社協ボランティア活動センターに登録済(助成金申請と並行して登録することも可) ③市協から他の補助金・助成金の交付を受けていないこと ※詳細資料は社協窓口を設置。市社協HPからダウンロード可。 助成額 上限15,000円 申込 10月3日(日)～26日(金)に申請用紙に記入の上、必要書類(今年度事業計画・収支予算・会員名簿・会則)を添付し、社会福祉協議会 ☎274-5135(西大島3-16-1、FAX:275-0606)

●防災講演会(申込不要)

日時 10月19日(金) 表彰式:午後1時30分～ 講演会:午後2時～3時30分 場所 市文化会館 内容

静岡県熱海市伊豆山土石流災害について 講師 笹野消防署 特別救助隊総隊長 黒澤昌希 費用 無料 問合せ 市防火安全協会 ☎271-0730

●高齢者交通安全研修会

日時 11月24日(金) 午後1時30分～3時 場所 安全運転中央研修所附属交通公園(国営ひたち海浜公園南駐車場入口向い側) 内容 飛び出しおよび巻き込みの危険性実験、自転車運転の基本など 対象 市内在住65歳以上で会場に直接来られる方 定員 先着50人 費用 無料 申込 10月21日(金)までに生活安全課 ☎内線 3212

●ひたちなか市の「人・農地プラン」キックオフセミナー(要申込)

日時 10月4日(日) 午後1時30分～4時 場所 ワークプラザ勝田 内容 10年後も市の優良農地を守るために 講師 地方考夢見® 研究所長 澤畑佳夫氏 定員 300人 費用 無料 申込 農政課 ☎内線 1333

●農繁期の事故に注意

○服装を正しく 農業機械に衣服が巻き込まれる等の事故を防ぐため、手ぬぐいをしまし、袖口を留めるなど、服装にも注意しましょう。
○安全カバーを外したときは要注意 安全カバーを外す前には必ずエンジンを停止し、作業後は必ずカバーを閉めましょう。
○健康管理も万全に こまめな水分・塩分補給と休憩を心がけ、体調万全で作業を行いましょう。
○道路に土を飛散させない 土の固まりを落とすと、通行の障害となり危険ですので片付けましょう。
問合せ 農政課 ☎内線 1332、3

●ごみは正しく分別しましょう

ページID 1002999

分別などのルールを守らないごみが増えており、収集に支障が出ているほか、燃やせるごみに空き缶などの燃やせないごみが混ざり、クリーンセンターの焼却炉を損傷する原因となっています。冊子「家庭ごみの

正しい出し方(市HPからダウンロード可)」を参照し、適正な分別と、分別収集によるごみ減量化にご理解・ご協力をお願いします。 問合せ 廃棄物対策課 ☎内線3324～6

●道路に張り出している 樹木等の適正管理を

敷地から道路に張り出している樹木等は、通行上とても危険です。所有地の適切な管理をお願いします。 問合せ 道路管理課 ☎内線 6111、2

●古くなった消火器は 処分しましょう

腐食が進んだ消火器を操作すると消火器が破裂しケガをする恐れがあります。変形や損傷、サビがある老朽化したものはむやみに触らず、専門業者や販売店にご相談ください。 問合せ (株)消火器リサイクル推進センター ☎03-5829-6773

募集

●市立保育所「園庭開放」

未就学児と保護者を対象に園庭を開放しています。子育ての情報交換の場としてもご利用ください。 期間 10月～2月 第2・3(日)(東石川保育所は第2(日)のみ) ※雨天中止 時間 午前10時～11時


実施保育所	対象	電話番号
つだ保育所		273-5360
東石川保育所	6カ月～5歳	273-7427
那珂湊第一保育所		262-4902
那珂湊第二保育所		263-1223
高野いろは保育所	6カ月～2歳	212-8832

申込 直接または電話で各保育所

●介護教室に参加しませんか

日時 10月26日(日) 午後2時～4時 場所 長砂転作推進センター 内容 コロナ自粛によるオーラルフレイルの危険性についての講義、口腔機能チェックなど 定員 先着15人 費用 無料 申込 10月21日(金)までにサンフラワーひたちなか ☎285-9288

●助産師による母乳育児教室

日時 10月25日(日) 午後1時30分～3時 場所 ふあみりこらぼ 内容 母乳育児に関する話、個別相談 定員 6人 ※応募者多数の場合抽選 費用 無料 申込 9月28日(金)までに電子申請 問合せ 子育て支援センター ふあみりこ ☎212-6850 申込はこちら▶ 

●市心身障害者(児)スポーツ大会参加者募集

日時 10月8日(土) 午前9時30分～正午 場所 総合体育館 内容 ダンス、徒競走 費用 無料 申込 9月22日(金)までに障害福祉課 ☎内線 7211～4

●ボランティア担い手養成講座


講座名	日程
バルーンアート	10月1日(土)
演芸ボランティア	10月22日(土)

★共通 時間 午前10時～正午 場所 市総合福祉センター 定員 各先着10人 申込 9月14日(日)～28日(金)に窓口、電話またはメール(氏名・性別・年齢・住所・電話番号を記入)で社会福祉協議会 ☎274-5135(メール:hnsa-o2@chic.ocn.ne.jp)

●パソコン講座 初心者のための エクセル基礎コース(4日間)


日時 10月11日(日)～14日(水) 午後2時～4時30分 場所 ひたちなか商工会議所 定員 先着8人 費用 会員4,800円、一般7,200円 申込 同商工会議所 ☎273-1371

9月の納期限



- 国民健康保険税3期
- 後期高齢者医療保険料3期
- 介護保険料3期

令和5年度 園児募集の要項・願書配布

詳しくは、各幼稚園にお問い合わせください。 

●公立幼稚園

園名	電話番号	要項・願書配布開始日
佐野幼稚園	285-0924	10月3日(日) 園児募集については、市報9月25日号と市HPでお知らせします。
東石川幼稚園	274-8571	
那珂湊第一幼稚園	262-4443	
那珂湊第三幼稚園	263-3271	

●私立幼稚園

園名	電話番号	要項・願書配布開始日
勝田第一幼稚園	273-6391	9月13日(日)
勝田第二幼稚園	274-7107	
明成幼稚園	285-0141	9月16日(水)
明成田彦幼稚園	274-1470	
栄光幼稚園	272-2098	9月14日(日) 11:30～ ※満3歳児は令和5年5月～
はなのわ幼稚園	272-4417	9月29日(日)

新型コロナワクチンについて

■4回目集団接種は9月29日(日)で終了します

接種日	接種受付時間	接種会場
9月22日(日)、25日(水)、29日(日)	13:00～15:30	ホテルクリスタルパレス

※使用するワクチンはモデルナ社製。

■オミクロン株対応ワクチンについて

ページID 1010521

オミクロン株対応ワクチンが開発中であることや諸外国の動向等を踏まえ、オミクロン株(BA.1型)対応ワクチンを使用した追加接種の実施について国で検討されています。

接種の実施や対象者などの詳細は、引き続き国において審議されます。市では、実施が決定された場合に備えて、接種体制の準備を進めてまいります。詳細が決定し次第、市報や市HPでお知らせします。

■小児接種について

ページID 1009004

9月6日から、5～11歳の小児に対し、努力義務の規定が適用されるようになりました。また、国において、3回目接種を実施することが決定されました。詳細は決まり次第、市HPでお知らせします。

【問合せ】健康推進課(ヘルス・ケア・センター) ☎276-5222

保 健
健康推進課
(ヘルス・ケア・センター)
☎ 276-5222

●各種保健相談

予約・開催場所の記載がないものはヘルス・ケア・センターで実施。

■母子保健相談(要予約)

	ヘルス・ケア・センター	那珂湊保健相談センター
日程	10/18(※)、24(◎)	10/13(※)
受付時間	9:30～10:30	14:00～14:30

内容 身体計測、保健・栄養・歯科相談
対象 生後3カ月～幼児
持ち物 母子健康手帳、タオル、オムツ
※電話相談は随時受付中

■助産師によるおっぱい相談(要予約)

日程 10月18日(※)、24日(◎) 受付時間 午前9時30分～10時30分
内容 母乳相談 持ち物 母子健康手帳、タオル、オムツ

■離乳食教室(要予約)

日程 10月7日(金) 受付時間 ①午前9時30分～45分 ②午前10時30分～45分
内容 管理栄養士による離乳食作りの講話・試食、希望者は栄養相談
対象 4～6カ月の乳児がいる保護者 定員 各回10組
持ち物 母子健康手帳、乳児同伴の場合バスタオル

■心の健康相談(要予約)

日程 10月13日(※) 受付時間 午後1時30分～3時30分
対象 気分が落ち込むなど、心に悩みを持ち、医師の診断を受けていない本人と家族
相談員 精神保健福祉士

■健康・栄養・歯科相談(要予約)

	ヘルス・ケア・センター	那珂湊保健相談センター
日程	10/18(※)	10/3(月)
受付時間	13:30～14:30	

対象 生活習慣病や栄養、口腔衛生について相談したい方

●9月は「循環器疾患予防月間」「がん征圧月間」です

生活習慣の改善や健康診査・がん検診の受診を勧めています。
○今より多く体を動かそう
○主食・主菜・副菜を考えバランスよく
○禁煙に挑戦しよう 市では、禁煙支援の助成事業を実施しています。

○健康診査・がん検診 市の健診等を希望する方は問い合わせください。

●県ナースセンター看護職研修

■看護職再就業支援研修

対象 ①離職後ブランクのある未就業看護職員 ②復帰後、就業1年未満で看護に不安のある看護職員
内容 講義、実務、試用研修 費用 医材料費3,000円、保険代1,550円


■潜在看護職研修

対象 新型コロナに関する看護業務に従事、または従事を希望する看護職員
内容 講義研修 費用 無料
★共通 日程、場所、定員など詳細は問い合わせください。 問合せ 県ナースセンター☎ 221-7021

文化・教養


●こらぼDEまなぼ～学びのとびら～

■ひたちなかの治水
日程 10月25日(※)

申込はこちら▶ 

■家族を守る！女性
目線から学ぶ防災


日程 10月26日(※)

申込はこちら▶ 

★共通 時間 午前10時～11時30分 場所 ふあみりこらぼ 定員 15人 ※抽選結果は10月13日(※)までに通知 費用 無料 申込 9月30日(※)までに電子申請、または往復はがき(1人1枚)に講座名・氏名(フリガナ)・年齢・性別・住所・電話番号(携帯・自宅)を記入し、生涯学習課☎ 272-6301(〒312-0057 石川町11-1)

●こらぼDEまなぼ～学びのひろば～

■追加開催：発達障害の理解と支援

日時 10月15日、22日、11月5日、26日、12月3日の(※)(全5回) 午後2時～4時 定員 40人 ※応募者多数の場合抽選 費用 1,500円 申込 9月28日(※)までに電子申請または往復はがきで生涯学習課
※場所や往復はがきの書き方は上記「学びのとびら」と同様です。 申込はこちら▶ 

●大人向け文化教室「オカリナ」

初回日時 10月19日(※) ①はじめてコース：午前9時30分～ ②経験ありコース：10時50分～(全7回) 場所 文化会館 定員 各10人 費用 4,000円(オカリナ代含む) 申込 9月21日(※)午前9時～電話で文化会館☎ 275-1122

●特選落語ひたちなか寄席 桃月庵白酒・柳家わさび

日時 12月17日(土) 午後2時～ 場所 文化会館 費用 大人3,800円、小中高生2,000円 ※全席指定 申込 9月18日(◎)午前9時～電話で文化会館☎ 275-1122

スポーツ

●ユニカール体験教室・ミニ大会

日時 10月8日(土) 午前8時30分～正午 場所 松戸体育館 定員 先着16チーム(1チーム3～4人) 費用 300円(当日徴収) 申込 9月28日(※)までに市ユニカール協会・荒蒔☎ 285-8832



図書館

●3館共通

■10月休館日 3日(月)、11日(※)、17日(月)、24日(月)、27日(※)、31日(月)

■催しの予約方法

催しは全て予約制(先着)で、申込開始日の午前9時から、直接または電話で受け付けます。

●中央図書館 ☎ 273-2247

■かつたおはなしの会
日時 9月28日(※) 午後3時30分～4時 場所 視聴覚室 定員 15人 申込 9月13日(※)～

■こどもえいがかい

日時 9月25日(◎) ①午前11時～ ②午後2時30分～ 場所 視聴覚室
内容 アニメ「がんばれ!ルルロロしあわせのおやつ」(30分) 定員 各回15人 申込 9月14日(※)～

●那珂湊図書館 ☎ 263-5499

■おはなしのドア

日時 9月24日(土) 午前11時～11時30分 場所 視聴覚室
内容 絵本・紙芝居などの読み聞かせ 対象 幼児・小学生と保護者 定員 15人 申込 9月10日(土)～

■名平洞で発見!自然観察ワークショップ

日時 10月10日(月) 午前9時30分～ 場所 集合:視聴覚室、会場:名平洞公園 定員 20人(親子10組) 申込 9月10日(土)～

●佐野図書館 ☎ 270-3811

■こどもえいがかい

日時 10月1日(土) ①午前11時～ ②午後2時30分～ 場所 視聴覚室
内容 アニメ「おしりたんでいププみみとがりときょうふのやかた」(20分) 定員 各回10組 申込 9月16日(金)～

■サンデーシアター

日時 10月9日(日) ①午前10時～ ②午後2時～ 場所 視聴覚室
内容 「種まく旅人 華蓮のかがやき」(108分) 定員 各回15人 申込 9月23日(金)～

ひたちなか・東海クリーンセンター 10月
から
土曜日と年末年始の
ごみ持込が予約制になります

予約方法 ①ネット予約 (https://gomiyoyaku.jp/) ②予約センターへ電話☎ 219-5553 (午前8時30分～午後4時30分)
受付期間 持込日の12日前(土)搬入の場合は前週(月)から前日まで
※初回となる10月1日(土)の予約受付は9月20日(※)から
【問合せ】広域事務組合施設課☎ 265-5310



1月29日(日)開催
第70回 勝田全国マラソン参加者募集

コース 日本陸上競技連盟公認コース(ひたちなか市～東海村)
▼スタート 表町商店街 ▼フィニッシュ 石川運動ひろば

エントリー方法 インターネット受付のみ

先行申込 ひたちなか市民・東海村民対象 9月20日(※)～28日(※)

通常申込 一般対象 9月30日(金)～10月23日(日)

	マラソンの部	10kmの部
参加資格	国内在住であること	
	満18歳以上(高校生不可)	高校生以上
定員	先着10,000人	先着5,000人
参加料	8,000円	5,000円 ※高校生4,000円
記録証	WEB発行のみ	
参加賞	大会オリジナル長袖Tシャツ、完走(乾燥)いも	

ボランティア募集

活動日時 大会当日を含む前後3日間(1日から可) 午前8時～午後5時 ※内容により前後します

活動内容 石川運動ひろば内の業務、コース上の交通誘導など

対象 満20歳以上で長時間活動が可能な方

募集期間 10月31日(日)まで

申込 大会HPまたは電話でスポーツ振興課

【問合せ】勝田全国マラソン大会事務局(スポーツ振興課内) ☎ 272-8405